

本当に恐ろしかった さぬきうどん 2.5R

山越行列レポート本



K・I・D四国空母化計画推進委員会

本当に恐ろしかった さぬきうどん 2.5R

山越行列レポート本



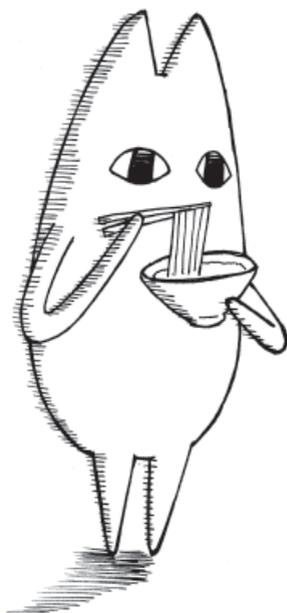
もくじ

- 5 事の起こり
- 6 山越について
- 8 9月23日・行列
- 12 9月23日・駐車状況
- 14 私的(わたくしてき)釜玉
- 16 山越豆知識 その場所で判る行列待ち時間
- 18 9月30日
- 20 まとめ

私的(わたくしてき)釜玉
有馬兵衛(んじゃめな本舗)

カット
暮下無用

編集、その他
双葉・スズキ



こんなに長いのに
ちよほおいしいというー

(CV: 若本規夫)

それは夏の大阪のシティが終わった頃、適当にネット巡回していたときの事です。とあるサイトにて「夏休みに青春18きっぷで旅行しようとしたらコミケ帰省組満載の夜行列車に乗ってしまったOLの日記」が紹介されていました。

ご愁傷様としか言いようがないなあ、と思いながら読んでいたのですが旅行の目的地に着いたところで「山越」「なかむら」と言った見覚えのある店の名が。そう、このOLは香川にうどんを食いに行っていたのです。しかも、山越で1時間40分、なかむらでも1時間ほど待ったと書いてあります。

その時はちょうど盆休みと重なっていたので人でも多かったことと思いますが、二時間近い行列が出来るというのは。一昨年春、はじめて山越尾を訪れたときに20分待ったときでもだいぶ待ったと思ったのに。

どうやらこのところさぬきうどんのメディアでの露出度がかなり上がっているようです。それについてはファンの一人として喜んではいたのですが、今は「ブーム」を通り越して「バブル」にまで膨れあがっているのかもしれない。

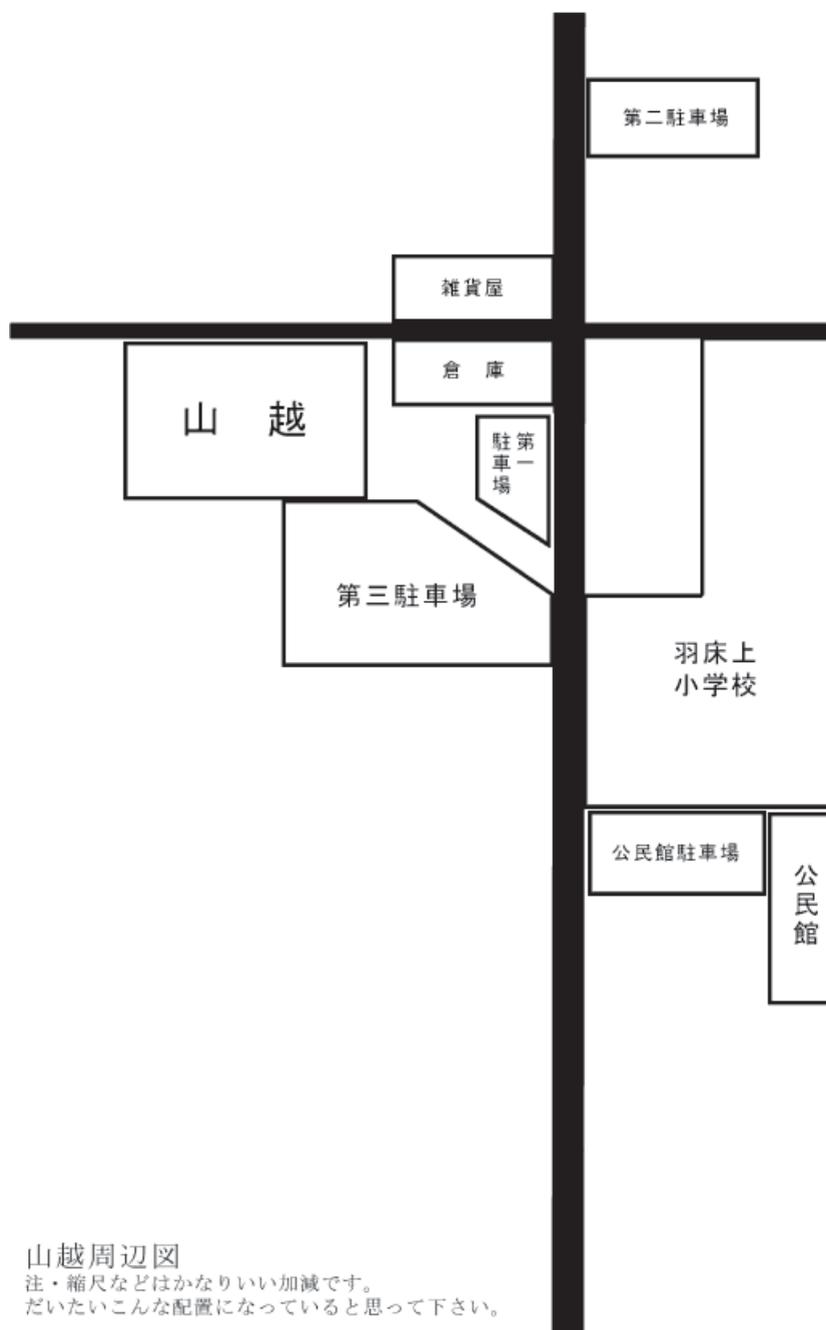
それをこの目で確かめるために我がうどん部のメンバーであるたけっぴさんと有馬さんの協力を頂いてちょっと調べに行ってきました。調査を行ったのは9月の23日、三連休の最終日となる日です。盆休みほどではないにしろかなりの人出でした。

で、今回調べたことは以下の通りです。

- ・ 1時間おきに行列に並び、その最後尾と待ち時間
- ・ 駐車場の混み具合
- ・ 上の二点を平日に再調査

では、次のページからレポート始めさせていただきます。

山越について



山越周辺図

注・縮尺などはかなりいい加減です。
だいたいこんな配置になっていると思って下さい。

「本当に恐ろしかったさぬきうどん」でも一度取り上げている山越ですがあのころとはいろいろ変わったところがありますので今一度紹介させていただきます。

店の名前は「やまごえ」と読みます。正式には飲食店ではなく、製麺所です。ここの空きスペースにテーブルやベンチを並べ飲食スペースとしています。ここの特色は井戸の天然水を使って打ち上げ、そして引き締められた麺の評判に加え、今では釜玉(乱暴に説明するなら卵かけご飯のうどん版)の発祥の地として話題を呼び今ではすっかり行列のできる店になっています。

注文の形式は半セルフ、店のおばちゃんに食べたい分だけのうどんと味付けを申告し、欲しいトッピングする天ぷらなどを客本人が取ったあとで会計となります。うどんは一玉90円、四玉まで頼むことができます。

そして「本当に～」で取材したときから変わったことですが下の三つです

1・第三駐車場

休日毎に訪れる自動車の群れに対応するため、裏にあった田んぼを買い取って第三駐車場に変えています。それなりに面積はあるのですがいびつな三角形をしていますので取り回しの都合上二〇台程度しか収容できないようです。

2・小冊子の配布

飲食スペースに立ってかけてあるスタレの横で「はじめて、のれんをくぐられる方へ」と言う小冊子が配布されるようになりました。内容は注文の仕方とお品書き、うどんの食べ方です。いろんなところで使われているおばちゃんのイラストがいろいろ味出しています。

3・新メニューの追加

「やまかけうどん」「月見山うどん」が加わりました。どちらも温いと冷たいのがあります。

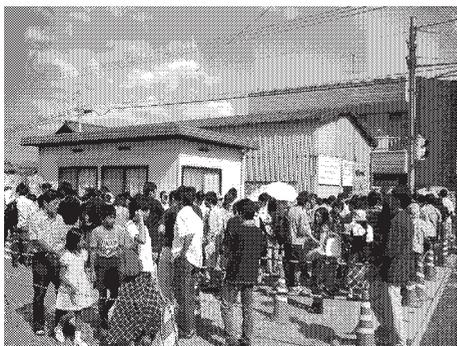
9月23日・行列



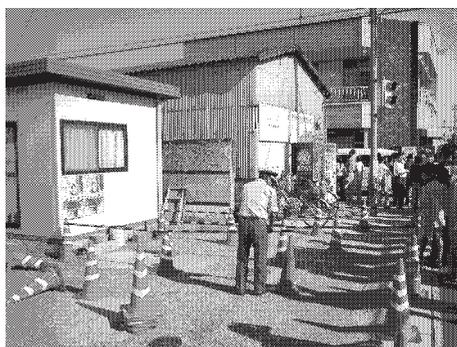
8 : 03 山越前



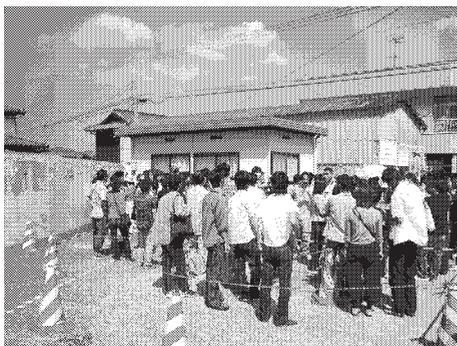
8 : 56 行列最後尾



9 : 58 行列最後尾



8 : 57 導線設置中



10 : 55 行列最後尾

さて、事前の調査によると山越の開店時間は午前9時。比較資料として開店前の写真を撮っておきたかったので8時半には到着しようとして早朝に出発したのですが、現地入りしたのはそれよりも早い8時前。えらいはやいこと着いてしもたなあ、と話しながら店に向かうと既に先客が10数人ほど。駐車場に二台ほど停まっていた時点で予想はしていましたが、君ら気が早いぞ。

この時点ではまだ行列はできておらず、それぞれのグループがベンチや車のそばでたむろしているだけでしたが、8時過ぎ、店の入り口で動きがあるとあっという間に行列が。

おいおい、開店までまだ間があるがなと思いつつ、こちらも行列に並びました。8時20分、開店です。情報よりも40分も早いかな。初回は3人そろって行列に並びました。うどんを食うことができたのはそれから20分後。開店直後でもこれだけ待つのかと。

あとで判ったことですが、土曜祭日の開店時間は8時だそうです。この日開店が20分遅れたのは急に葬式会場への仕入れが入ったからだとか。

とりあえず木陰になってきた付近の公民館前を待機場所としたところで時間が迫っていたので行列へ。ちなみに順番は双葉 > 有馬 > たけび > 双葉 > 有馬の順。

先ほど店の前を出たときには十字路に届いていなかった最後尾が今ではそこを折れ曲がり、第一駐車場前を埋め尽くそうとしてます。このまま隣の家の前へと延びるのかと思っていたらさっきまで車の誘導をやっていた警備員のおちゃんがカラーコーンを持ち出して第一駐車場内に行列を折り曲げる導線を作っています。ここはいったいこの大手様ですか。

行列の進みは悪くありません。5分毎に5m進むという感じですよ。おそらくですが、生のうどんを茹で上げるまでが12分から15分ほどかかります。山越にはそのうどんを茹で上げる釜が三つあり、それぞれが時間差で茹でているので5分ごとに進むと事になっているのではないのでしょうか。これ以降については箇条書きで。

9 : 0 0

最後尾は第一駐車場内の4分の1程度。待ち時間約55分。

10 : 0 0

最後尾は第一駐車場内の3分の1。待ち時間約70分。

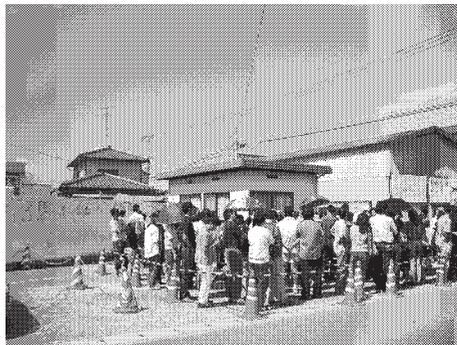
11 : 0 0

最後尾は第一駐車場内の3分の2。この頃がピークか。待ち時間約80分。また、この時の待機組分で天ぷらが売り切れたとのこと。

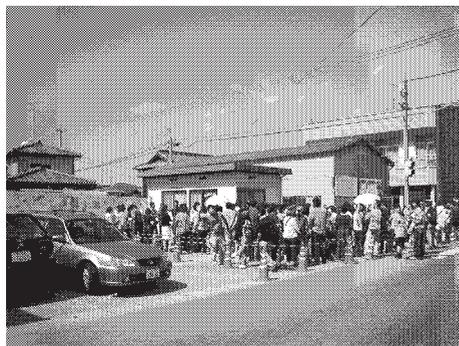
9月23日・行列



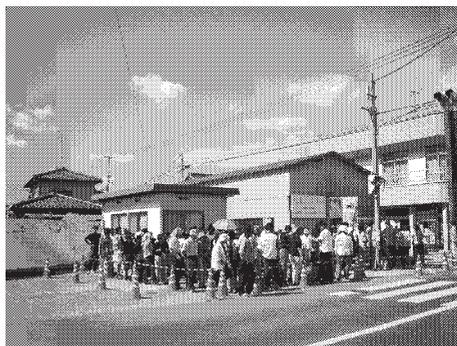
12:06 行列の最後尾から



12:16 行列最後尾



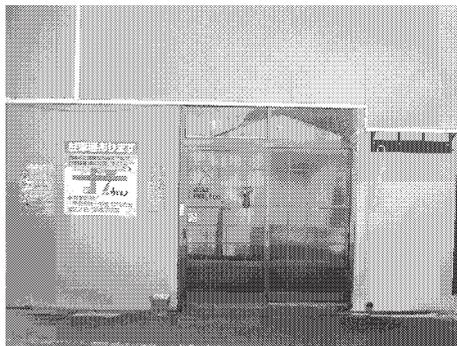
12:57 行列最後尾



13:27 行列最後尾



13:56 行列最後尾



14:46 閉店

12:00

最後尾は1時間前と変わらず第一駐車場の3分の2程度。待ち時間は約70分。ピークは過ぎたと思われるが来客数はほぼ変わらず。

13:00

最後尾は第一駐車場の4分の1程度。第一駐車場の空いたスペースに車を誘導し始める。待ち時間は約70分。

13:25

本来の閉店時間5分前。警備員のおちゃんがカラーコーンを片づけ始める。時間が来れば列を打ち切り、閉店してしまうのかと聞いてみたところ、客が来る限り店は開けているとのこと。

14:00

最後尾は十字路にも届かず倉庫前まで。閉店時間を過ぎていたため行列には並ばず。推定待ち時間40分。かなり減ったが来客は途絶えず。ダメ元で来ているのか。

14:40

ついに閉店。警備員のおちゃんによると土曜祝日はこの時分に終わっているとのこと。

この日の閉店時間は本来のそれよりも1時間以上遅くなりました。余談ですが、警備員のおちゃんに今までで一番長かった行列について聞いてみたところ、5月の連休の時に二時間半、最後尾は第一駐車場を超して隣の民家前までに延びたとのこと。

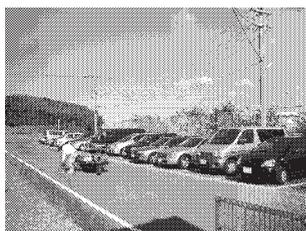
9月23日・駐車状況



8:00頃、左から第二駐車場、第三駐車場、羽床上小学校前



9:00頃、同じ地点を



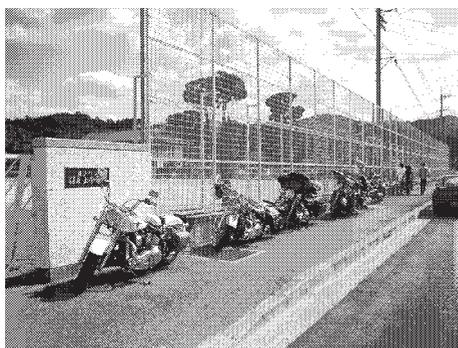
8:48 公民館前駐車場



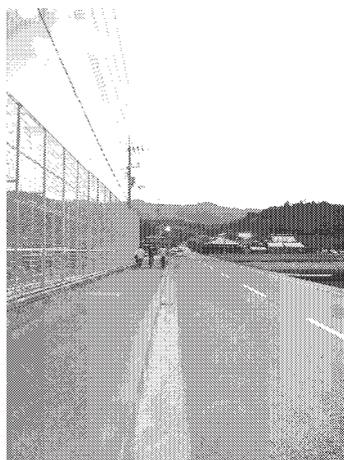
11:15 路上駐車先頭を



11:15 振り返って山越え方面を



13:59 羽床上小学校前 ライダー軍団勢揃い。



14:00 羽床上小学校黄門前から

次は駐車場のことです。こちらの方も行列最後尾と同じく一時間毎に調査していたのですが、困ったことにどの時間の写真を見ても「車が一杯」という印象しか伝わっていません。なにしろ9時の時点で三つある駐車場は来訪者の車を収容しきれず、小学校前には路駐が発生していたのですから。たけっぴさんに指摘されて途中で路上駐車の状態も調べることにしました。

まず、駐車場の状況です。先にも挙げましたとおり、8時の時点では全駐車場を合計しても10台ほどしか停まっていなかったのに9時には収容数をオーバーしていました。第二駐車場、第三駐車場共にいつ見に行っても満車状態でした。(5台程度しか収容能力のない第一駐車場は行列の導線に)とはいえ、客は回転していますので駐車場から出る車があります。ですから運が良ければ駐車できないことはありません。あくまで運が良ければ、ですけど。警備員の方が誘導していますのでその指示に従って下さい。また、この日事実上の第四駐車場となっていたのが公民館前の駐車場です。ざっと20台ほど停まっていたのではないのでしょうか。

次に路上駐車の状態です。南北に向かっている道路は2車線、東西の道路は一車線です。ですから十字路の東側には小学校前の空きスペースに10台程しか停まっていませんでした。そしてどんどん延びていくのが南側です。ピーク時の半時間程前にその台数を数えてみたのですが90台を超えていました。おそらくピーク時には軽く100台を超えていたと思われます。周辺の民家の駐車場前は避けられていましたが、何らかの苦情が出て不思議では無いように思えます。

「かまたま」という字面を見て皆さんはどんな印象を持たれるだろうか？『カマだのタマだのイヤン』とか抜かすようであれば読む本を間違えてる上に自分と同レベルです。

本来は「釜揚げ玉子うどん」の略称で「釜玉」と呼ぶのだが、なんとなくやっていた食べ方が定着してなんとなくで縮めてた名前が定着したような物なので名称そのものに深い意味はそんなにないようです。いっそカマだのタマだの(以下略)

そんな訳で香川暦4回程度の身ですが、釜玉について思うまま書いてみたいと思います。

最近のさぬきうどんブームで広く認知されるようになった釜玉。先にも書いた通りなんとなくやっていた食べ方と言うものの普通はまず思いつかない組み合わせ...と思いがちですが、うどんが米に並ぶぐらいに主食となっている香川の食生活から考えると結構自然に受け入れられる組み合わせではないのでしょうか？

釜玉の特徴と言えば

：だしが要らず、水で締めもしないので準備が簡単

：味付けはシンプルにして手堅い玉子&醤油

の2点ですが、これに良く似た料理を誰しも一度は食べたことがあるはず。たいした

準備もいらず食器も1つで済む食事...そう、玉子かけご飯！

うどんを主食におでんを食べたりのはもちろん、オヤツとしてうどんが出てくるのも当然な香川からすれば玉子かけご飯の「ご飯」を「うどん」に入れ替える事もごく自然な事だったのでは無いでしょうか。

こうした類似性のある玉子かけご飯と釜玉ですが、1つ大きな違いを上げるとすれば玉子かけご飯は一般的なお米であればどれでも美味しく頂けるのに釜玉は3玉 円とかで売られてるうどんで作るとかなーりせつなく(笑)になってしまう事ですね。

そんな釜玉の名称発祥の店として有名な「山越」でも2回ほど釜玉を食べた事があるんですが、さすが現地香川の店だけあってその味は...実は楽しめてなかったり(笑)。最大4玉まで入れられると言うことで調子の乗って3玉入れてみたら玉子が薄くなって玉子っぽい生醤油うどんだったり、込み合った時間で支払いに滞ってるうちに玉子が混ぜる前に固まってしまうしょぼりな釜玉になったりで別の某店でゆったり食べた印象の方が強いのはなんとも。

そんな山越に3度目の挑戦の際に目に入ったのは新しい釜玉。さすが老舗だけあって常に先頭に立って行かねばならぬ山越の新たな釜玉とは「冷やし釜玉」...ちょっと待て。

釜玉と言うのは「釜揚げ玉子うどん」という正式(?)名称の通

り、釜から上げたてと言うのがポイントではないのか？

どこからどこまでと「釜揚げ」と区別するかは個人個人の認識の差があるかもしれないですが、自分的には『釜から上げてお客に渡すまで』が釜揚げだと思う。逆に言えば作り手が水で締めるなどの手が加わればその時点で「釜揚げ」では無くなると言う事だ。この点については店によって「釜揚げ」「湯溜め」と区別してる店もあることから釜から上げたために手を加えた段階でそれは「釜揚げ」ではなくなってるのでは無いのか、そんな訳でかなり疑問符がつく品である。

と、「釜」の意義について書いてみたものの、書くだけじゃあ無責任だと言う事で（新し物好きでバクチ好きな性分でもあるし）ちゃんと食べもしますよ。いただきます～す。

...えーっと、なんと言えば良いのでしょうか...基本的な釜玉における「アツアツのうどんで絡みついた玉子が良い感じに半熟」と言うのが皆無です(笑)。また半熟状態の玉子がコーティングされて程よい「ちゅるん」とした食感が冷しになると「にゅるん(笑)」に変化してしまっただけまたかなり微妙。さらに山芋も加えられると言うことで「毒を食らわば(毒?)」と勢いに乗って入れてみると
ニゅルルン なんでしょう?今すぐにパン粉をつけてカラッと揚げたくくなります(笑)。つーかコレは天ぷらの下ごしらえですか？

とは言え人の味覚は千差万別。自分としても独特の食感に違和感を覚えましたが定番に頼ることなく新しい方向性を模索すると言う姿勢は大いに歓迎するところです。

でも「釜」の字は外せ「釜」は。

あー、こんな事書いてたらなんだか釜玉が食べてなくなったので後で作って食べよ。

香川に行ってから家でもうどんを作るようになったんですが、さぬき級とまでは行かないものの少なくともせつなくなるのは回避できるし(笑)。香川で1玉100円で食べてるうどんがどんな手間をかけて作られてるかを身をもって知ることができるのも大きいですね。

こんな手間がかかるのに食べやすい値段で生醤油や釜玉で美味しく食べさせてくれるおっちゃん&おばちゃん達に感謝を。

注釈

この原稿の依頼を正式にしたのが12月に入ってからです。そのせいが有馬さんの記憶に違いが発生しています。この日有馬さんが食されたのは冷やしの月見山うどんでした。

また、冷やし釜玉についてははなまるうどんにて「冷や玉」なるメニューが確認されています。

(双葉・スズキ)

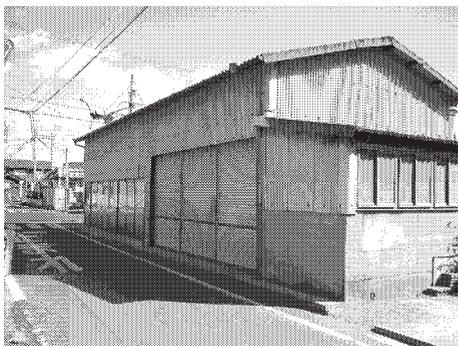
今回、さんざん行列に並んだおかげでどの辺りにいればあと何分待ちなのかということが判ってきました。それぞれの写真に待ち時間をつけておきましたので並ばれた時参考にどうぞ。



第一駐車場 この中の導線内なら1時間超



十字路の自動販売機前 だいたい1時間から50分



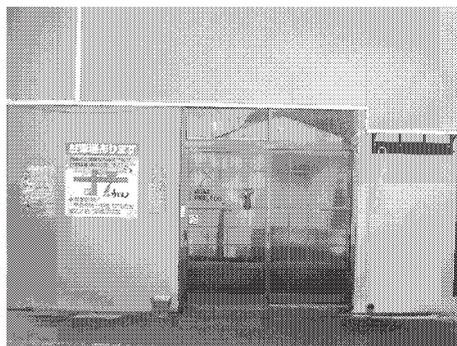
倉庫前 50分から30分 ここから本番



花壇前 30分から20分



すだれ前 20分から10分



入り口前 10分以内 入り口をくぐってからちょっと時間がかかります



9月30日



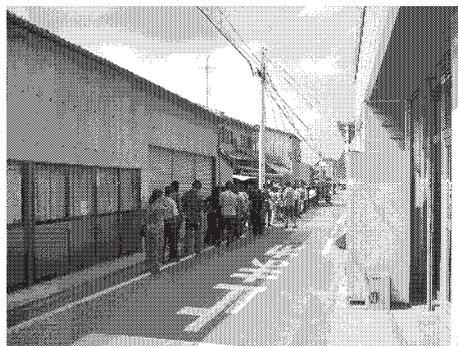
10:00 第三駐車場



10:02 行列最後尾



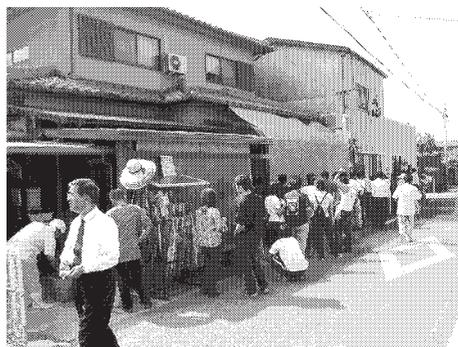
11:57 羽床上小学校前



11:59 行列最後尾



12:56 羽床上小学校前



12:57 行列最後尾

さて、次は平日のレポートです。調査を行ったのは一週間後の9月30日です。皆が皆そう簡単に平日に休みを取れるものでもないのでこの日は双葉一人が調査に当たることになりました。ですので1時間毎の行列待ち時間は計っておりません。

この日、現地に着いたのは9時40分頃。開店時間から大幅に遅れてしまいました。駐車場に止められているの車は三つ合わせても20台程度、また先週には二人いた警備員の姿はありません。店の前に行けばそこにあるのは行列以前の順番待ち程度の人数です。そこに加わり10分もしないうちにうどんにありつくことができました。あと、この時はじめて知ったのですが、平日なら列に並び直すことなくお代わりを頼むことができます。その後はす向かいの民家の壁の陰から観測することにしました。

10時半頃、目に見えて来客数が増え始め、11時には店の前に行列と呼んで差し支えないだけの人数が、そして小学校前には2、3台ですが路上駐車の見られました。この時間にやってくるのは早めの昼食を取りに来た地元の人たちと予想していたのですが心なしか近隣の他府県ナンバーの車が目立ちます。降りてくる客も20代前半の若者のグループです。あとになって判ったことですが大学生の夏休みは高校生までのそれより一ヶ月長いそうで。夏休み最後の日にさぬきうどんツアーとしゃれ込んだ人たちがいたようです。

行列のピークは11時半頃、最後尾は倉庫前までに、路上駐車は小学校の前を埋め尽くしました。先週は休みでしたが……。また、この時たまたまオフで食事に来ていた警備員のおちゃんが駐車場で誘導係を買って出ていました。ご苦労様です。

12時を過ぎると作業服、ネクタイ姿の客が増えてきました。が、倉庫前まで延びた行列を見て引き返す客も目立ちました。確かに1時間程度しか無い昼休みの大半を行列で過ごしたくはないですね。

さすがに13時には昼休み組は完全にいなくなりました。来客数の減り方は先週と比べものにはなりません。行列の長さは1時間前の半分程度になりました。路上駐車は残留組が2、3台になりましたが駐車場は満車状態です。こちらも残留組ですかね。帰りのフェリーの都合もあり調査はこの時間で打ち切りました。おそらく二時には閉店していたものと思われます。

「恐るべきさぬきうどん」の文庫版に評判になったうどん屋が突然増えた来客数と路上駐車に対する周辺からの苦情などによって閉店するという事例が載っていました。そして23日では予想通り山越の処理能力が来客数に追いついていない様を目にすることになりました。ですが、その日私たちは安心感を抱いて本州に戻ったのです。なぜならその日見た山越は従業員を増やす、駐車場を拡大するなど突然増えた客数に対して完全には言えませんが対応する努力をしていたからです。が、次の週、私の顔を覚えていた向かいの雑貨屋の親父さんの話を聞いたときにはその好印象を撤回せざるを得ませんでした。

まず、一番の問題になっているのが路上駐車です。当然と言えますが警察からはマークされており、抜き打ちの取り締まりとそれに伴う駐車場拡張などの指導が山越へなされているとのことでした。

第三駐車場に関しては地主の財政的な事情により交渉がスムーズに行えたとのことですが、これ以上となると難しいのではないかと。また、たとえばの話ですが駐車場を作ったとしてもいつまでそれが必要になるかも分かりません。また、23日には事実上の第4駐車場になっていた公民館の駐車場についても、公民館側から苦情が出ているそうです。

次の問題が昔の常連さんが離れていることです。香川県内外を問わず新規の客(しかもそのほとんどが一見さん)が増えたために昔からの常連が離れつつあるのです。一见さんにとっては二時間並んでも山越で食う理由がありますが、そこで生活している人たち - 例えば30日にいたような昼休みに来ていた人たち - は違います。彼らは日常的な食事を取るのが目的であって、その場所が山越である必要はないのですから。また、平日のサンプルとした9月30日は月曜日でしたので有休を使って連休にした観光客、それに加えて前述した最後の夏休みを送る大学生達がいたために30分から40分待ちの行列が発生しましたが、この親父さんの話によると火曜から金曜は順番待ち程度の人数しかいないそうです。

あと、増えたように思えた従業員も実はうどん修行に来ていた人でした。山越側が進んでその数を増やしたわけは無かったようです。

昨今のさぬきうどんブームにより順風満帆と思っていた山越ですが何かと逆風が吹いていたことを知りました。経営努力をしている山越がこうなのですから、思わずこのバブルがはじけたときにどれだけのうどん屋が生き残ることができるのかと考えてしまいました。

実はつい最近、サークルを通じての知り合ったもーやんさんが平日に田村や宮武などの行列ができる店を中心に日帰りで香川へ行か

れたのですが、どの店もほとんど待たずにうどんが食べたという話でした。

23日に訪れていた客の1割から2割ほどが平日に動けば周りからの苦情もかなり減るのではないかと思いますし、何よりも待ち時間が大幅に減りますのでこのご時世、なにかと難しいと思いますが、可能であるなら香川に行かれるなら有給などを使って平日を組み込んだスケジュールをお勧めすることで今回のまとめとさせていただきます。

(CV: 若本規夫)



本当に恐ろしかったさぬきうどん 2 . 5 R

発行元

K・I・D

印刷

双葉・スズキ所有レーザープリンター

発行日

2002/10/20

2002/12/30

改訂版発行

2005/05/20

PDF 版発行

